

令和5年度 長崎県立口加高等学校 学校関係者評価 報告

1 評価の実施期日・場所

- 第1回 令和5年6月21日(水) 本校会議室
 第2回 令和6年2月20日(火) 本校校長室

2 学校関係者評価委員

- | | | | |
|-------|-------|---------------|----|
| 大野 豊 | 学校評議員 | 6 / 21・2 / 20 | 出席 |
| 相川 武利 | 学校評議員 | 6 / 21・2 / 20 | 出席 |
| 八木 信也 | 学校評議員 | 6 / 21・2 / 20 | 出席 |
| 林田 昭義 | 学校評議員 | | |
| 高木里佳子 | 学校評議員 | 6 / 21・2 / 20 | 出席 |

3 学校関係者評価の内容

学校評議員への 諮問内容	1 令和5年度学校経営方針・努力目標等について 2 学校概要・現況報告 3 服務規律の取組について 4 学校評価について
学校評議員からの 意見・助言等	①セクシャルハラスメントの防止をはじめ、服務規律の取組については工夫した対応が求められる。 ②福祉科の進路についてはどのようにしているか。 ③探究活動の成果を生かして進学したあと、どれくらいの生徒が地元に戻っているか。 ④自転車で通学している生徒へのヘルメットの着用を取り組むべきである。 ⑤志願者の増加に向け学校はよく取り組んでいるが、志願者が増えない。カリキュラムを含め、学校の良さが伝わっていない。また、探究活動を展開して、学校の魅力を発信することが重要である。 ⑥進路「指導」ではなく、自己探求をサポートすることに徹し、個性を伸ばしてほしい。 ⑦他人が求める自分ではなく、自分が求める自分を目指す生き方や、失敗しても挑戦を続ける生き方を、若いうちに手に入れるようにしてほしい。
対 応 等	①セクシャルハラスメントの防止については、密室で生徒と二人きりになる状況を避け、職員室や廊下の自学スペースで指導するよう対応している。服務規律の保持については、知恵を絞り、不祥事防止に取り組んでいく。 ②福祉科の進路については、11人中2人が就職し、9人が進学をしている。本校の福祉科は福祉のリーダーを育成する方針で生徒の教育活動を行っている。

③ふるさとを題材にした探究活動の成果を生かして進学した生徒がどれくらい地元に戻ってきたかははっきりとわからないが、探究活動の成果を生かして進学を希望する生徒は増えている。口之津小学校・中学校と連携してふるさと学習を進めている。

④現在、自転車通学の生徒でヘルメットを着用している生徒は少ないと思われる。努力義務であることから、どの程度強く指導すべきか難しいが、今後検討して着用について指導していく。

⑤本校のそのものの良さが伝わっていないので、その魅力を発信していく。

⑥本校では、特に探究活動において、自己の興味や地域への貢献を視野に入れて活動をしている。この活動を充実させ、自分の特性や生き方について考えを深めながら、進路指導につなげていきたい。

⑦今年度は『わたし』から始まる口加の未来』というキャッチフレーズの下、生徒の主体性を高める方針で教育活動を進めている。これからも生徒の主体性や自己肯定感を高め、自分の生き方を極め、挑戦する資質を育成していく。